

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：エンゼルベア青葉台保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：和田 和枝	定員（利用人数）：60（利用者47名）名
所在地〒227-0063 神奈川県横浜市青葉区榎が丘13-3	
TEL：045-507-8556	
ホームページ：http://www.angel-bear.ednet.jp/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社エンゼルベア	
職員数	常勤職員： 10名 非常勤職員： 6名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士:常勤9名、非常勤6名 事務：1名
施設・設備の概要	（居室数保育室：5室 （設備等）トイレ：3か所、調理室：1、事務室：1、園庭：あり

③理念・基本方針

小規模な保育園の特色を生かし、一人ひとりの個性を大切に家庭的な保育を行っています。

【保育理念】

子どもの人権や主体性を尊重し、児童の健康と幸福のために、保護者や地域社会と連携しながら地域における子どもの育ちの支援を行います。
子どもたちには豊かな愛情をもって接し、安心して安全に過ごせるよう、知識の習得や技術の向上など専門性の向上に努めます。

④施設・事業所の特徴的な取組

1. 保護者の皆様にとって安心して託せる保育園であり、家庭の協力の下に子どもたちの成長を育む。
2. 子どもたちの安全と健康で情緒の安定した生活から、さまざまな体験が得られる場の創出を図る。
3. 日々の遊びや集団生活を通して、思いやりや協調性、喜びを学び、生きる力の基礎を養う。
4. 一人ひとりが自分で考え、判断して自分らしさ（個性）をのびのびと表現できるようにする。
5. 自然との触れ合いを多く取り入れ、草花・生きもの・四季の移り変わりなどを感じ取る心を育む。

一人ひとりの発達を考慮し、様々な視点からきめ細やかで丁寧な保育を行っています。

またこれらの理念に共感する人材を求め、それに基づいた運営及び保育を行うことで地域のニーズに応える役割を担うべく取り組んでいます。
健康診断や予防接種、各種手当・保険の適用に加え、オリエンタルランドコーポレートプログラムへの加入等、様々な福利厚生を整備しています

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年11月1日（契約日） ～ 令和4年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回（ 一 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの生活と遊びを豊かにする保育活動

子どもが十分自己発揮できるように、援助や配慮をしながら各年齢に応じた遊びを積極的に取り入れて活動を展開しています。雨や悪天候の日以外はほとんど毎日、全クラス散歩に出かけ屋外で活動しています。ボール遊びや鬼ごっこ、縄跳び、乳児ではシャボン玉の追いかけてごっこ等全身を使った遊びを多く取り入れています。散歩の行き帰りでは地域の人と挨拶を交わしています。専任講師を招いて体操、英語、音楽遊びの他に、月2回行われる知育遊びは特に子どもたちに人気があり、生活の中での気づきに発展させた内容になっています。リサイクル野菜栽培、昆虫の世話、縦割り保育を生かした成長を祝う会等、充実した保育内容で子どもの生活と遊びを豊かに展開しています。

2)感染予防体制の整備

「感染症対応マニュアル」をベースに特にコロナ禍の感染予防には配慮をしています。換気や、保育室内をはじめ園内で職員、子どもが使用する場所や触った所は使用後の消毒を心掛け、玩具も感染を防ぐため拭いたり、洗える玩具だけにして消毒の徹底をしています。食事時間の黙食、衝立活用の他に、園児用机を購入して少人数の2グループ制にして間隔を開けての食事、乳児も横並びに座り子ども同士が対面して食べないように食事場面での工夫、配慮をしています。検温は2時間おきに行い、その都度記録し健康確認を徹底しています。送迎時での感染予防への取り組み等感染予防対策を積極的に行っています。

◇改善を求められる点

1)保護者への情報提供の工夫

新型コロナウイルス感染症の流行により、園は感染防止対策を取りながら保育業務にあたっています。感染予防のため、送迎は玄関フロア内での限られた時間空間での対応のため、子どもについての会話が少なくなっています。保護者は園で子どもがどんな一日を過ごしたのか関心があります。クラス活動や公園、給食での写真等を玄関フロアに掲示したり、制作物を展示したりなどが検討されます。写真や動画を配信するなど、コロナ禍においても保護者への情報提供の工夫が望まれます。

2) 保護者が意見を言いやすい環境作り

掲示や意見箱だけでなく懇談会、個人面談で相談できることを伝えています。面談場所は安心して話ができるように配慮していますが、保護者に理解されていません。保護者からのアンケートでも不満がみられますので、聞く姿勢を示して、保護者の意向を把握・分析しての対応が期待されます。相談しやすい雰囲気を作り、保護者と園とが協力して保育を行うことが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受け、施設にて評価結果を話し合い、自分たちとしては伝えているつもりでありましたが、利用者には伝わりきっていないということが見受けられたので、今後は伝え方を工夫し、信頼関係の構築に努めたいと思います。
評価を受けることで今後の課題が見えてきたので、今後職員全員で意識を持って、利用者の安心、安全を実現するために園の質向上に努めていくことが、継続的なサービスの向上に繋がると考えています。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり